

注意してください！「うちは大丈夫」が最も危険

市内で火災が急増中

今年は市内で火災が急増しています。大切な命や財産を守るため、ご自宅の火の元を今一度点検するとともに、火の取扱いには十分注意しましょう。

前年同期に比べ5件の増

市内における火災発生件数は、今年の1月から5月まで16件ありました（5月21日現在）。この件数は昨年同期と比べ5件も増加しています。また、火災に伴う損害額も、今年の1月から5月まで4712万円にもおよび、この額は昨年1年間の合計より1740万円余りも上回っています。

火災の原因は

コンロの消し忘れなど

火災の原因には、コンロの消し忘れや車両の整備不良による火災、また空気が乾燥している時期に野焼きをしたことによる林野火災などがありますが、今年は放火（疑いを含む）が多いのも特徴です。

火災は一人ひとりの注意で防げる

家庭での火災予防

- ▽コンロのそばから離れる時は必ず火を消す
- ▽燃えるもの（コンロやストーブ）のそばに洗濯物など置かない
- ▽寝たばこはしない
- ▽火災の早期発見、被害を最小限に食い止めるために、住宅用火災警報器を設置するほか

屋外での火災予防

- ▽火災警報発令中など空気が乾燥している時は、たき火・火入れ・喫煙をしない
- ▽家庭ごみなど廃棄物の屋外での焼却は、原則行わない

放火の予防

- ▽家の周りに紙類など燃えやすいものを放置しない
- ▽ごみ集収日の前夜にごみを

外に出さない

- ▽オートバイや自転車などのポテターカバーは防炎品を使う
- ▽郵便受けに新聞やチラシを溜めっぱなしにしない

問合せ先

消防本部予防課
☎3213027

火災の状況

今年は5月までの5カ月で出火件数、損害額ともに大幅な増加傾向にあります！

	平成22年(1月~12月)	平成23年(1月~12月)	平成24年(1月~5月)
合計(件)	30	25	16
建物	18	16	10
林野	2	2	1
車両	4	4	2
その他	6	3	3
損害額	5,240万円	2,965万円	4,712万円(※)

※5月21日現在（調査中を除く）予防課調べ

もう設置はお済ですか？ 住宅用火災警報器



TOPIC

危険な林野火災

平成14年4月に岐阜・各務原の両市境で発生した林野火災をご存知でしょうか。被害面積は約410ヘクタールにも及び、甚大な被害が発生しました。

林野火災はいったん発生すると、消防水利の不足や火災現場へのアクセスが悪いことなど、消防活動が困難で、被害が広範に及び危険性が高まります。

全国の統計によると、林野火災の原因は、たき火やたばこの不始末、火入れなどが上位を占めています。つまり、林野火災は人的な要因で発生しているのです。一人ひとりの注意で山火事を防ぎましょう。

消防署では、水利の乏しい山林で消火訓練を行い、いざという時に備えています。

